小学校外国語活動　学習指導案

学校名　三次市立甲奴小学校
授業者　Ｔ１　HRT　和田　和子
Ｔ２　ALT　Jamila Bharath

１　日　時　令和元年　11 月 21 日（木）第５校時

２　学　年　第６学年　２１名

３　単元名　I like my town.　甲奴の未来を伝えよう　～英語版パンフレットを作ろう～
（We Can! 2　Unit 4）

４　単元について

○児童観　本学級の児童は，第１学年から英語活動を行ってきており，昨年度から週に２時間の外国語活動を実施している。

９月末実施の外国語活動に関するアンケート結果では，

質問項目	人数（□/21）
「外国語活動の授業以外で英語を使ってみたい。」	21/21
「英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしている。」	21/21
「英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えている。」	21/21

このことから，進んでコミュニケーションをしていこうという意欲は十分にもっていると思われる。また，より相手に分かりやすい工夫も考えながらやり取りをしている様子も見られる。これまでの授業でも，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事をしたりする姿が見られている。

しかし，人前で自分の言葉で表現することに自信のない児童もおり，これまでも，Small Talk や，少人数でのやり取りを繰り返すことで，少しずつ，英語でのやり取りに自信をつけてきた。6 月に行われたアメリカス市の方との交流会では，始めは恥ずかしそうにしていた児童も，進んで自分から話しかけることができ，今まで学習した英会話を生かすことができ，児童は大変満足していた。また，9 月の修学旅行でも外国から来られた観光客に進んで話しかけることが出来た児童もいる。授業中でも，分からない単語を，辞書を使って調べたり，言葉集めをしたりすることで英単語や英文に興味をもつ児童が増えてきているなど，意欲の高まりが感じられる。

また，地域に関するアンケート調査の結果では，

質問項目	人数（□/21）
「ふるさと甲奴に対して愛情をもっている。」	21/21
「甲奴を良くするために何をすべきか考えることがある。」	21/21

このことから，児童は郷土愛にあふれ，郷土のために何かしたいという思いをもっているため，ふるさと甲奴のために何をしたらよいかを考える学習には大変興味をもって取り組めるのではないかと考える。

○単元観　今後ますますグローバル化が進む社会で生き抜くためには，コミュニケーションを図る

力はとても重要になってくる。そのグローバル人材の育成という観点からも，地域の一員として自分の住む地域を知り，愛せることが大きな条件となっている。自分の故郷の良さを再確認し，多くの人に伝えたいという思いをもち，たくさんの人に発信していくことを通して，更に地域を愛せる人材へと成長できると考える。

児童は，国語科の「町の良さを伝えるパンフレットを作ろう」で地域の良さを考え，更に甲奴の地域が元気になるためにはどんな施設や物・事があればよいかを考え，まとめるという学習を行った。総合的な学習の時間でも地域の歴史を調べ，自分の住んでいる甲奴の良さを再確認している。本単元は，他教科等で学習したことをもとに，その良さを外国の方にも伝えるために，英語で地域の良さを伝えるための活動を通して，自分の地域の良さをより深く理解し，思いを広げていくことができる単元であると考える。

○指導観　指導に当たっては，単元ゴールを設定し，学習に必然性をもたせることで児童の学習意欲を継続させたい。本単元では，夏休み中にあった三次こども市議会に参加した児童が三次市からの回答として，甲奴を紹介するパンフレットの活用することを教えてもらったことを受けて，甲奴の良さを外国人観光客の人にも知ってもらえるような，英語版甲奴観光パンフレットを完成させ，活用してもらえるようにお願いをする。そうすることで，自分の住んでいる甲奴の良さを再確認し，あったらいいものや施設を考え，友達と未来の甲奴について考える。１学期に国語科で考えたものを整理し，それを「未来の甲奴」として実際に三次市役所甲奴支所の方に伝える。

単元のはじめにゴールを示し，ゴールにたどり着くまでにどのような学習が必要かを児童と一緒に考え，学習計画を立てる。自分たちで計画することで学習の目的もはっきりとし，毎時間，学習を振り返ることで少しずつゴールに近づいているという達成感や，自身の成長の実感をもたせることができると考える。

話すことの指導においては，地域に施設があるお陰でどんなことができるかに気付かせるなどして，既習の単語や We can~.などの表現を使えば話し合えることを体感させる。それを繰り返すことで，自信のない児童が話し合いをスムーズに行えるようにさせたい。

書くことの指導においては，やり取りを重ねた後に，より地域の良さが伝わる内容を友達と対話する中で吟味させ，パンフレットへ書く文章へと反映させる。その時，辞書も活用させながら，主体的に学ぶ姿勢も身に付けさせたい。甲奴のことを知らない外国の方に甲奴の良さを伝えるという視点をもってパンフレットには絵や写真も載せたり，レイアウトも考えさせたりする活動も取り入れるため，相手意識をもって思いや考えを伝える学習を進められる。

５　単元目標

○進んで，地域の良さや課題などについて自分の考えや気持ちを伝えようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○地域にどのような施設があるのか，また欲しいのか，更に地域の良さを表す表現に慣れ親しむ。
また，書くことに慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】

○日本語と英語の語順の違いに気付く。【言語や文化に関する気付き】

６　新学習指導要領における領域別目標

話すこと （やり取り）	ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。
話すこと （発表）	ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

７　単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	外国の人に，甲奴の良さを発信するために，英語版パンフレットを作成し，発表する。
目指す発話例	This is my town. Konu is nice. We have Carter Civic Center. We have a library. We can enjoy reading many books. We have planetarium. We can see many stars. It’s fun.

８　言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
・<u>We have /don't have (a park).</u> ・<u>We can (see many flowers).</u> ・<u>We can enjoy [fishing / shopping / swimming].</u> ・I want a [library / park]. ・<u>(Sakura) is a nice town.</u>	・we　・town　・but　・so　・nature ・施設と建物（park, <u>gift shop</u>, <u>aquarium</u>, <u>swimming pool</u>, <u>stadium</u>, <u>roller coaster</u>, <u>Ferris wheel</u>） ・動作（dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking）

９　単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○進んで，地域の良さや課題などについて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。	○地域にどのような施設があるのか，また欲しいのか，さらに地域の良さを表す表現に慣れ親しんでいる。また，書くことに慣れ親しんでいる。	○地域の良さや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合う表現に気付いている。 ○日本と英語の語順の違いに気付いている。

10　単元指導計画

時		各時間の目標（◆）と主な活動（○） （　）＝児童に提示するめあて【　】＝誌面にある活動	評価 コ	慣	気	評価規準	表現例
課題の発見	1	◆施設名を表す語句や，「私たちの町には～がある。」という表現に気付く。 〔施設の名前は？〕 ○帯活動：Sounds and Letters ○【Let's Listen 1】 ・登場人物の話を聞いて，イラストから選ぶ。 ○【Let's Play 2】ポインティングゲーム ○【Let's Read and Write】① ・音声を聞いて繰り返し言った後，単語を選んで書き写す。		○	◎	・施設名を表す語句や，「私たちの町には～がある。」という表現に気付いている。 ・施設や建物の表現に慣れ親しんでいる。	・We have（施設・建物） ・甲奴にある施設 ・We can (see many flowers)
情報の収集	2	◆施設名を表す語句や，「私たちの町には～がない」と言う表現に気付く。 〔あるもの，ないものを伝えるには？〕 ○帯活動：Sounds and Letters ○【Let's Listen 2】 ・音声を聞いて分かったことを記入する。 ○施設の絵カードについて，ペアで Do you have ～?と尋ね，カードを渡す。 ○【Let's Play 1】 ・ペアで質問をして，相手が選んだ町がどれかを当てて答える。 ○【Let's Read and Write】② ・音声を聞いて繰り返し言った後，単語を選んで書き写す。 ○【Let's Chant】"I like my town."		○	◎	・甲奴にはどのような施設があるか，ないかについての表現に気付き慣れ親しんでいる。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・甲奴にある施設と建物
	3	◆自分の住んでいる町が良い町だという表現に気付き慣れ親しんでいる。 〔場所の良さを伝えるには？〕 ○Small Talk：校内の好きな場所 ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Let's Listen 3】 ・会話を聞き表にまとめる。 ○自分たちの町の良いと思うことをペアで伝え合う。 ○【Let's Read and Write】③ ・音声を聞いて繰り返し言った後，単語を選んで書き写す。		◎	○	・甲奴の良さについて，理由を付けて話しそうとしている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・We can (see many flowers). ・I like ~. ・甲奴にある施設と建物

情報の収集	4	◆自分たちが住む地域にあってほしい施設とその理由を伝える表現に気付き慣れ親しむ。 〔甲奴の町に欲しいものは？〕 ○帯活動：Facilities Quiz ① ○Small Talk:甲奴町の好きな場所 ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Let's Watch and Think 1】 ・映像資料を視聴し，表にまとめる。 ○【Let's Play 3】ポインティングゲーム（I like ～.の表現を使う） ○【Activity 1】 ・自分たちの町にあると良い施設を選び，ペアで紹介し合う。 ○【Let's Read and Write】④ ・音声を聞いて繰り返し言った後，単語　を選んで書き写す。		◎	○	・甲奴にあってほしい施設について理由を加えて伝え合っている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・We can (see many flowers). ・I want a [library / park]. ・I like ~ing. ・甲奴にある施設と建物
考えを表現	5	◆自分たちが住む地域について自分の意見をまとめ伝えようとする。 〔甲奴について伝えよう〕 ○帯活動：Facilities Quiz ② ○Small Talk: 町にあってほしいもの ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Let's Watch and Think ２】 ・映像資料を視聴し友達の感想をまとめる。 ○【Activity 2】 ・誌面のパンフレットを読む。また，小童の児童が書いたパンフレットを読む。 ○パンフレットの構想を練る。	○	◎		・甲奴について書かれている英文を推測しながら読み，自分の意見をまとめ，伝えようとしている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don’t have (a park). ・We can (see many flowers). ・I like ~ing. ・I want a [library / park]. ・甲奴にある施設と建物
考えを表現	6 本時	◆自分たちが住む地域について，学習した表現を用いて自分の考えを話し，目的意識をもってその内容を書くことで伝えようとしている。 〔パンフレットを作成しよう〕 ○帯活動：Facilities Quiz ③ ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Let's Watch and Think 2】 ・前時に視聴した動画を再度見る。 ○【Activity 2】 ・児童同士で町の良さについてのやり取りをしたのち，この単元で書いた英文を集め，パンフレットに載せる文章を作る。	◎	○		・甲奴に来られる外国の方に伝えるという目的意識をもって，学習した表現を用いて話し，その内容を書くことで伝えようとしている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・We can (see many flowers). ・I like ~ing. ・I want a [library / park]. ・甲奴にある施設と建物

考えを実行	7	◆目的意識をもってパンフレットの内容を書き，伝え合おうとする。 〔パンフレットを完成させよう〕 ○帯活動：Facilities Quiz ④ ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Activity 2】 ・この単元で書いた英文を集め，パンフレットを作り発表練習をする。	◎	○		・甲奴に来られる外国の方に伝えるという目的意識をもって，パンフレットの内容を書き，伝え合おうとしている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・We can (see many flowers). ・I like ~ing. ・I want a [library / park]. ・甲奴にある施設と建物
振り返り	8	◆他者に配慮しながら自分たちが住む地域について，自分たちの考えを話そうとし，自分たちが住む地域についてのパンフレットを読もうとする。 〔スピーチをしよう〕 ○Small Talk：私たちの町 ○【Let's Chant】"I like my town." ○【Activity 2】 ・パンフレットを見せながら発表する。 ○【Activity 2】 ・指導者がパンフレットの単語を言い，児童はその単語を見つける。 ○【STORY TIME】 ・ライムの含まれる文を聞き，それを理解し，繰り返して言う。	◎	○		・他者に配慮しながら自分たちが住む地域について，自分たちの考えを話そうとし，自分たちが住む地域についてのパンフレットを読もうとしている。	・Do you have(a park)? ・Yes. We have (a park). ・No. We don't have (a park). ・We can (see many flowers). ・I like ~ing. ・I want a [library / park]. ・甲奴にある施設と建物

11　本時の学習

（１）本時の目標と授業の流れ

第６時	目　標：　自分たちが住む地域について，学習した表現を用いて自分の考えを話し，目的意識をもってその内容を書くことで伝えようとしている。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度）（外国語への慣れ親しみ） 準備物：電子黒板，　ワークシート，　施設の写真や絵

過程	児童の学習活動	指導者の支援		・指導上の留意点等 ◆評価
		Ｔ１（ＨＲＴ）	Ｔ２（ＡＬＴ）	
導入	①　挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやり取りを進める。	○挨拶をする。 “Hello! How are you?”	○Greeting “Good afternoon, class.”	・学習リーダーを中心に行う。
	②　帯活動：Facilities Quiz ＜既習の復習，聞くこと，読むこと，書くことを統合した活動＞	○Facilities Quiz T1: Let’s play Facilities Quiz! What’s this? T2: Hint 1. …　Hint 2. …　Hint 3. … T1: Please write the answer.（児童は答えを書く） OK. Let’s check the answer. Spell, please. SS: (答えのスペルを言う) T1: Yes! That’s right!	○Facilities Quiz	
	③　本時のめあてと授業の流れをつかむ 【本時のめあて】甲奴町のパンフレットを作成しよう。	○本時のめあての確認 ・前時までの活動を振り返り，本時のめあてと流れをつかませる。	○Today’s Goal	・甲奴町観光協会の方からのメッセージを伝え目的意識をしっかりともたせる。
	④　【Let's Chant】 "I like my town."	○パンフレットに書く内容を伝え合う前に，表現を再確認するためにチャンツを行う。	○Let’s Chant “I like my town”	
	⑤　【Let’s Watch and Think 2】p.31 ・前時に視聴した動画を見て，町の紹介と感想を伝える言い方のイメージを持つ。	○紹介したり感想を伝えたりするイメージをもてるように，動画を再度視聴することを伝える。	○Let’s Watch and Think 2 ・SS will have the image of the presentations.	
	⑥　【Activity 2】 ・指導者のやり取りを聞き，互いの伝えたい内容をより良くするためのペアトークを行う。	○動画の内容から指導者同士のやり取りへつなげ，さらに児童同士のやり取りへとつなげる。	○Teachers’ Talk then, Pair Talk of SS.	

展開	T1:（⑤の動画の内容を受けて甲奴町にないものを取り上げて話すことで，パンフレットに必要な内容を前時に引き続き再度意識させる） This is my brochure. Welcome to Konu! We have You-Genki health center. We can enjoy walking in the pool. It's healthy. We don't have a supermarket. I want to go shopping after school. I want a supermarket in Konu. T2: Oh, You-Genki is nice. I want to go there. And your idea is good. I want a supermarket, too. But it's not good information for the brochure. T1: Oh, I see! そうだったね。We don't have a supermarket. これは甲奴の町を宣伝するにはマイナスの情報は必要ないかもしれないね。実は，甲奴町観光協会の鶴本さんに，メッセージをもらっているよ。（メッセージを見せる） 甲奴のマイナスの情報の代わりにどんな情報を付け加えられそうだろう？（ゆげんきについて他にどんなことをＰＲできそうか児童から引き出す。） S1: We have restaurant in You-Genki. We can eat lunch. T1: That's nice idea! "We have ~." "We can ~."が使えそうだね。 Anything else? S2: It's nice! T1: Oh, nice idea! "It's ~."も使えるね。 こんな風に，自分の伝えたいところについてペアからアイデアをもらおう。 No.1. Talk in pairs. No.2. Give your friend advice or idea. Formation A. （何人かの児童を指名し，出た助言やアイデアを板書する。） OK. Let's talk in pairs. Formation B. （別の人の意見も聞くために Formation B でも同様の活動を行う）			・甲奴町の宣伝になるようにすることや，甲奴を訪れる外国語の方に読んでもらう事を意識させる。
まとめ	⑦ 【Let's Read and Write】 ・友達と話したことも含めて，これまでに学習した表現を用いてパンフレットの内容を書く。 児童の表現例 Konu is nice. We have Carter Civic Center. We have a library. We can enjoy reading many books. We have planetarium. We can see many stars. It's fun.	○ワークシートを配布し，あらためてパンフレットの目的を考えさせながらこれまでに学習した表現を使って文に書くことを伝える。 次回も時間をとるので，全部を書ききれなくても良いことを伝え，時間が来たら手を止めるよう伝える。	○Writing ・Support SS.	◆甲奴に来られる外国の方に伝えるという目的意識をもって，学習した表現を用いて話し，その内容を書くことで伝えようとしている。

	⑧ 振り返りを書き，発表する。 児童の振り返り例 ・We can enjoy を使って，行事をさらに付け加えることができた。 ・友達のアドバイスで It's ~.を使って，より詳しく説明できることが分かった。 ・外国の方に分かるように説明を付け加えたい。	○本時のめあて振り返り，まとめを書くように伝える。 友達からもらったアイデアをメモしておき，次回へつなげることを伝える。 また，何人か振り返りを発表させる。	○Reflection	
	⑩ 挨拶をする。 ・学習リーダーが行う。	○挨拶をする。	○Greeting	

（２）本時の板書計画

I like my town.　　ゴール：甲奴の未来を伝えよう。　　November 21st Thursday

甲奴町のパンフレットを作成しよう。

We have 甲奴の施設や地域の写真 .

We can 動きを表す言葉 もの・こと .

児童から出された表現やアイデア

反応ワード例

（3）本時のワークシート

I like my town.

November

スタート ① 施設の名前	I like my town.						
	② あるもの 無い物	③ 場所の良 さを伝え るには？	④ 甲奴に 欲しい 物	⑤ 甲奴町 ってこ んな町	⑥ パンフ レット 作成		伝え合おう

○ふりかえろう

きょうの外国語活動は楽しかったですか。	はい	まあまあ	いいえ
パンフレットの目的を考えながら，文を考え，書くことができましたか。	はい	まあまあ	いいえ
次の外国語活動が楽しみですか。	はい	まあまあ	いいえ
分かったことを書きましょう。			

こんなことを書いてみよう

① 英語のことや世界こと

・○○のことを 英語では　～ということが分かった。
・英語で～というのは，○○な時につかうということが分かった。
・日本ではこうだけど，外国ではこうなんだと分かった。

② それ以外のこと

・（めあての達成）○○ができるようになった。○○がまだうまく言えない。
ゴールに向けてここまでできた。
・（自分の成長（せいちょう））前は～だったけど，今日は～できるようになった。
・（友だちのいいところ）○○さんの意見のおかげで～だと分かった。
・（次にしたいこと）ここまでできたから，次はこうしてみたい。
これができなかったから，次はできるようになりたい。
この場面でこのえい語を使ってみたい。
・（ぎもん）こんなとき，どう言うのかな。
この言い方が分からなかったからもう一度聞きたい。